

34862-1DG トラック用トルクレンチ 取扱説明書

この度は、34862-1DG トラック用トルクレンチをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解した上でご使用ください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。
重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品はボルト・ナットを設定トルクで締め付けるための工具です。目的以外の使用をしないでください。
- ・ 本製品は精密工具です。取扱には十分注意してください。
- ・ 本製品は締め付け専用です。通常のラチェットレンチと同様の使用はしないでください。
- ・ 切替レバーは確実に切り替えてください。確実にないとギアが空回りする恐れがあります。また、使用中は切替レバーに触れないでください。締付け時にギアが外れ、ケガや本製品の故障の原因になります。
- ・ 落下等の衝撃を与えないでください。
- ・ 本製品を分解、調整、修理しないでください。



注意

下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ 設定トルクに達すると『カチッ』と音が鳴り、ヘッドが傾き手に振動が伝わります。音が鳴ってから更に締め付けたり、2回以上締め付けしないでください。オーバートルクや故障の原因になります。
- ・ 調整用のキャップ等は触らないでください。トルク数値がずれる場合があります。
- ・ トルク設定値の大小により、カチッ音が異なります。測定前に音が鳴る感覚を確認してください。
- ・ 本製品のみで締め付けを行ってください。パイプ等を使用しないでください。
- ・ トルク範囲を超えるまたは下回る位置までハンドルを回さないでください。
- ・ 長時間使用しなかった場合、内部の潤滑油が行き渡るように低いトルクで数回操作してください。
- ・ 作業終了後はトルク設定値を最小にして保管してください。

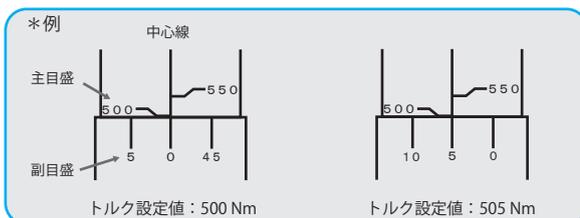


■ 使用方法

* トルク値の設定

ハンドル下部のロックリングをハンドル側に引き続けている間、ロックが解除します。
ロックを解除した状態でハンドルを回して任意のメモリに設定してください。
ロックリングを放したらハンドルを軽く回してロックが機能しているか確認してください。

* 目盛の読み方



中心線・主目盛・副目盛が重なる位置がトルク設定値になります。

* 主目盛 + 副目盛 = トルク設定値 単位は Nm

■ 諸元

トルク範囲	200～1000Nm 左右回転測定可*1
差込角	25.4mm
全長	1234mm
重量	6.2kg

*1 左回転時では、トルク設定値と実トルクで若干の誤差が生じます。

*注) メーカーの都合によりデザイン等が変更する場合があります。

■ 使用方法

* 設定トルクでの締付け

- トルクレンチにソケットを根元まで差し込んでください
- 対象のナット（ボルト）にソケットを接続します。
- ハンドルの中央を握り、ゆっくりと一定の速度で締付けてください。
- 『カチッ』と音が鳴り、手に振動が伝わったら設定トルクでの締付けが完了です。



使用上の注意

- 本製品は左右回転ともに測定は可能ですが、右回転でトルク値を調整してあるため、左回転時は若干の誤差が生じます。
- ソケット差込部にエクステンションバーや切替アダプター、またソケットでないアタッチメント等を使用すると設定トルク値がずれる場合があります。
- 締付け時、ハンドルの中央を持ってください。握る位置が中央でないと設定トルク値がずれる場合があります。
- 締付け時、弾みを付けたり過剰に体重をかけると設定トルク値がずれる場合があります。
- 作業前に数回締付け作業を行い、慣らしてください。初めの数回はトルクが安定しません。

■ メンテナンス

- 本体が汚れた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 作業終了後はトルク値を最小限にしてください。その時、最小値を超えないでください。
- ケースに収納し、振動の無い場所かつ高温多湿でない場所でない場所に保管してください。
- 給油はトルク値がずれる恐れがあるため、しないでください。
- 1年または1万回の使用でトルク値の調整（校正）を行ってください。
- 調整・点検・修理はお買い上げの販売店に依頼してください。



株式会社レックス
〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#1790519